

2025 年 2 月 3 日

「(仮称) M&E の会」の発足について

土木学会インフラメンテナンス総合委員会
インフラメンテナンス表彰小委員会委員長 伊勢勝巳
アクティビティ部会会長 岩城一郎

土木学会インフラメンテナンス総合委員会では 2021 年度より、インフラメンテナンス表彰小委員会が主管するインフラメンテナンス賞の中に、「インフラメンテナンス マイスター賞」(以下、マイスター賞)と「インフラメンテナンス エキスパート賞」(以下、エキスパート賞)を設け、インフラメンテナンスの分野において顕著に活躍している個人を対象に表彰を行ってきた。ここで、マイスター賞はインフラメンテナンスに関する技術やマネジメント全般において、豊富な実務経験に基づく卓越した総合的かつ指導的能力を有し顕著に活躍している個人であり、これまでに 33 名受賞している。一方、エキスパート賞はインフラメンテナンスに関する極めて優れた技術または技能を有し実務において顕著に活躍している個人であり、これまでに 22 名受賞している。

昨今、インフラメンテナンスの重要性については広く市民にも理解されるようになってきている一方で、インフラメンテナンスを担う人材の確保が急務となっており、とりわけ、トップエンジニアによる高度な技術的判断が求められている。このような背景の下、マイスター賞、エキスパート賞の歴代受賞者が集い、インフラメンテナンスの現状と将来像について議論し、ネットワークを構築するとともに、必要に応じて現場と連携することが極めて重要と思料される。

そこで、マイスター賞とエキスパート賞の歴代受賞者で構成される「(仮称) M&E の会」を発足し、年に数回集まり、本会が今後どのような形でインフラメンテナンスに貢献できるか、その可能性について議論することを提案したい。なお、発足にあたっては会則の制定や、会長、副会長、幹事長などの選定が必要になってくるが、これらの調整にあたってはインフラメンテナンス総合委員会委員と連携し、アクティビティ部会でその役割を担うこととしたい。

以上